

会 報

県民のため、会員のための鍼灸師会

- | | | |
|---------------------|---|-----------------|
| P 2 役員挨拶・叙勲祝賀会 | ／ | P 4 第53回三県合同研究会 |
| P 5 第15回全国大会 in 静岡 | ／ | P 6 研修会報告 |
| P 7 鍼灸師会のレベルアップとは？ | ／ | P 8 スキルアップセミナー |
| P 9 研修会・イベント予定 | ／ | P 10 研修会予定 |
| P 11 災害支援・リレーフォーライフ | ／ | P 12 東海北陸ブロック会議 |
| P 13 療養費今後の展望 | ／ | P 14 新入会員・理事会報告 |
| P 15 広報普及委員会より | ／ | P 16 編集後記 |

写真 「辰水神社のジャンボ干支（津市美里町）」提供：稲垣博文

村社辰水神社

急速に変化する環境への適応と操舵力が問われる

会長 一見隆彦



新時代「令和」になって初めての新年を新たな目標設定をされて迎えられたことと思います。

前号で「平成から新しい時代へのカウントダウン～組織・個人で変化への対応力を備えるために」という内容で挨拶をしましたが、新しい時代に入った定時総会以来8か月の間に、通常事業以外にさまざまな変化と出来事がありました。

今年度から日本鍼灸師会のブロック構成再編により、本会は近畿ブロック会を離れて新構成の東海北陸ブロック会の所属鍼灸師会となり、毎年行われるブロック会議の第1回は本会が立候補して昨年10月に四日市市で行ったことは、日本鍼灸新報等でご存じのことと思います。

今後は旧北陸・旧中部ブロックの6師会と連携し、本会が昨年度まで所属していた近畿ブロック会の特色を融合させながら、東海北陸ブロック会の新しいカラーを作っていくこととなります。

日本鍼灸師会がIT化を進めていることはご存じと思いますが、研修事業はeラーニングシステムで受講できるようになり、これに対応するにはネット環境が必須条件となるわけです。これがスタートすれば今後は自宅で受講ができ、また、各師会の研修会の回数を削減して内容のグレードを上げ、ここに既存の東洋療法研修試験財団の生涯研修制度を絡めていけば事業運営の無駄をなくせます。

今や生活必需品となったパソコンやインターネットなどで時間短縮ができて便利になった反面、その処理速度への対応に苦慮するアナログ世代もまだ多くいます。研修環境が整備されて便利になっても、別項の研修・講習会受講率関連記事が示すとおり研修しない鍼灸師はあるでしょう。研修意識のない者はどの業界でも淘汰の対象となり、気づいたときには手遅れとなる場合がほとんどだと言われているから、「患者に見られている」「不勉強者はすぐに見抜かれる」といういう意識を常に持つようにすべきでしょう。

5Gという時代になり、さまざまな情報が爆発的に増加配信されています。適応力がないと淘汰されてしまうという声が聞かれるなか、新制度や刻々と変わる環境の変化についていけず、孤立する会員がないように考えなければなりません。

毎年、医療・介護・ヘルスケア関係者が集結する複合型展示会 Care Show Japan が行われていますが、展示参加は増加の一途をたどって来場者の関心はどんどん高まっています。今回は「保険薬局支援展」「未病産業展」が新設され、経営や日常業務に活かせる情報満載のプログラムとなっています。多職種連携ということが取り上げられてから多くの企業では、渉外担当部門が多忙を極めているとのことですが、私たちも外に目を向けるようにすれば視野は格段に広がるでしょうから、鍼灸臨床以外のイベントに目を向けることも必要です。

変化する環境への対応は相当な時間を要しますが、役員の仕事は自己犠牲がないとできません。10年ほど前に全役員の1ヶ月の業務時間から、年間に費やす業務の合計時間を調べたことがあります。置鍼中に各種書類の確認や修正やメール処理をしなければ、ほぼ毎日自宅で残業しなければならなくなり、その会務の時間はボランティアというものではなく、一般公務員の定時勤務時間と同様という結果に驚いたことがありました。

鍼灸師同士で集まると必ずと言っていいほど業界の問題点を話題に上がり、オンとオフの切り替えがまったくできない窮屈な時間だと感じる人が多いのですが、上手に切り替えをしないと違う視点での発想ができません。時によって緊張感が必要ですが、自分のリズムを崩さずマイペースでリラックスした日常でないと面白くありませんし、緩急をうまく調整しながら変化をつけ、スタイルを崩さないようにする工夫が必要です。そうでないと使命感だけでは限界がありますから、心身がショートしないように心掛けたいと思っています。

毎回述べる「県民のための事業＝会員の要望に応え会員のための事業の実現を」という考えにぶれはありませんが、急速に変化する環境への適応と操舵力が問われる時代に淘汰されないよう、皆様のご協力をいただきながら事業を進めたいと思います。

鍼灸師として何をすべきか

副会長 岡田 賢
法人管理総務担当



最近社会の動きがたいへん速く感じられ、何かしなければと思いながら過ぎていきます。本会の会員増強と同時に、会員の建設的な意見も協力も得られるよう、今以上にお互いの顔が見える会にし、理事各位とその具体的方法を模索しながら会員各位に還元していきたいと思っています。

前号の挨拶でも触れましたが、我が国は高齢化ではなく超高齢化社会にまっしぐらです。会員間でレアな情報交換をしながら“鍼灸を活かす場所”を拡大していきましょう。身近に凄いアイデアが埋もれている気がしてならないのですが・・・。

年頭に当たり、鍼灸を含めた医療は医療者のためのものではなく患者さんのためのものという、至極当然の原点に立ち戻り日々臨床を重ね、本会に微力ながら貢献できるよう心と身体を引き締めてまいります。

変化を恐れずチャレンジを

副会長 新谷有紀
法人管理財務担当



昨年改元された新しい元号『令和』もすっかり馴染みとなりました。令和2年、六十干支では37番目『庚子（かのえ・ね）』に当たります。「庚」は、結実の後の転身、また、「子」は、生命のスタートを意味するそうです。

今年は56年ぶりに夏季オリンピックが日本で開催されます。記念すべきオリンピックイヤーに、世界新記録と共に世界中の各業界から発信される転身の波を見聞すると思うと気持ちが高まりますね。

理事会では、先輩から継いできた歴史を基盤に変化を恐れず、チャレンジを選択して明るい未来に向けた良いスタートとなる一年であるよう事業を進めてまいります。そして、会員の皆さんと一緒に三重県鍼灸師会を盛り上げていけるよう心から願っています。

本年もよろしくお願い申し上げます。

令和元年 春の叙勲

令和元年 10月6日 都ホテル四日市

仲野彌和先生の旭日小綬章受章を祝う会を開催

昨年4月1日に新時代「令和」となって最初の春の叙勲で、(公社)日本鍼灸師会前会長の仲野彌和先生(本会元会長)が旭日小綬章を受章されました。

田村憲久元厚生労働大臣と他8名が発起人となり、(公社)日本鍼灸師会が実行委員会を立ち上げて、昨年10月に藍綬褒章のときと同じ会場で祝う会の開催となりました。

仲野先生は三重県鍼灸師会役員としての功績で、平成21年秋に藍綬褒章を受章されましたが、今回の受章は平成15年から日本鍼灸師会理事に就任し、平成23年から令和元年6月までは会長として、社会保障審議会、医療保険部会、医道審議会、大学設置・学校法人審議会等のメンバーとして、療養費受領委任の制度化、鍼灸師の機能訓練指導員登用、災害時支援体制構築、日本鍼灸の海外普及啓発、資質向上のための教育カリキュラム作成などに尽力された功績に対するものです。

今回の受章は鍼灸業界にとってたいへん喜ばしいことで、祝う会は田村憲久元厚生労働大臣が発起人代表の挨拶をされ、来賓の衛藤晟一―億総活躍担当大臣、



片山さつき前―億総活躍担当大臣、川崎二郎元厚生労働大臣、中川正春元文部科学大臣、吉川ゆうみ参議院議員、森智広四日市市長、伊藤八峰菰野厚生脳神経外科総合リハビリセンター長、南和友ドイツボッフム大学永代教授から祝辞をいただき、また、加藤勝信厚生労働大臣と鈴木英敬三重県知事からはビデオレターで祝辞をいただきました。

平成22年2月11日の祝賀会のとき同様に300人を超える方々が出席され、盛大に催されました。

(写真: サカイフォトラボ 阪井正弘氏)

患者と向き合う時間を作ってくれる治療法「お灸」

53回目となる三県（愛知・岐阜・三重）合同鍼灸研修会は、一昨年の日鍼会全国大会 in 沖縄において師会長間で意見交換をした際に、「オールお灸」の内容はいかがかということで協議して開催に至ったものです。

第1部はMoxafrica Japanの山川義人先生（右写真上）から、Moxafricaの国際活動の現状と課題について解説をいただきました。

その活動の根拠になっているのは原志免太郎博士の結核に対する灸施

術の基礎研究とのことであり、日本においても透熱灸の効果を科学的にも再評価する時期が来ていることを感じさせられました。

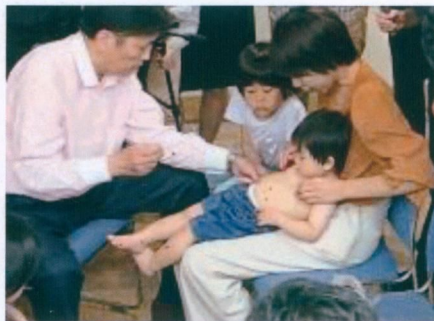
ランチョンセミナーでは中山道柏原宿の老舗もぐさ屋である亀屋佐京商店の松浦達修氏より、「伊吹もぐさ」の流行にまつわるエピソードやもぐさそのものの歴史についてわかりやすく解説していただきました。

第2部は明治国際医療大学の和辻直先生（右写真下）より、お灸の教育の現状と課題、また、日本鍼灸における特徴的な「文化」としてのもぐさやお灸と、それらを取りまく国際的な課題まで多岐にわたる内容で、今後の日本の「きゅう師」の価値と活動について考えさせられました。

第3部では（一社）滋賀県鍼灸師会副会長の井出健先生より、滋賀県草津市の穴村に伝わる伝統的な薬物灸である墨灸の歴史や、墨灸の作成方法をご解説いただき、岐阜県師会員のお子さんをモデル（下写真）にして実際の施術の手順を披露された。また、参加者全員が体験施術（下写真：合谷への墨灸）を受けるなど貴重な機会に恵まれ、まさに「お灸漬け」の一日となりました。

お灸は施術の手順の特性上、またリスク管理の意味でも、施術中は一人の患者さんから目が離せない場面が多くなり、多くの患者さんをうまく回転させるという観点からすると非効率的な側面があるのかも知れません。しかし、別の面では、一人一人の患者さんとしっかり向き合う時間を作ってくれる治療法とも言えるでしょう。

お灸や艾の可能性と価値を再確認し、自分の臨床スタイルへの活用方法について、多くの示唆をいただけた研修



会で、また、研修後は恒例の懇親会が行われましたが、毎年楽しい事業の一つとなっていると思います。

次年度は愛知県鍼灸師会（吉崎会長）の担当で開催される予定ですが、テーマ・日程等のご案内があり次第お知らせします。

（研修風景写真提供：岐阜県鍼灸師会／報告：学術委員長 奥田一道）

慢性の痛みシンポジウム（三重大学医学部市民公開講座）

三重大学、鈴鹿医療科学大学、文部科学省の主催で行われるシンポジウムで、本会は県医師会、薬剤師会、看護協会、理学療法士会、病院協会等とともに後援しています。詳細は本誌同封のチラシをご覧ください。

日時 2020年2月29日（土）13:00～16:00

会場 三重大学医学部 臨床第二講義室

内容 慢性の痛みに対する文部科学省の取り組み・慢性の痛みに対する治療アプローチ・慢性の痛みと心理・慢性の痛みと理学療法・慢性の痛みと薬—多剤服用について・三重大学 鈴鹿医療科学大学の合同授業・チームで働く・ディスカッション：合同カリキュラムに参加して・指定発言

鍼灸の可能性を探る 鍼灸の恩恵をすべての人に

今回の大会テーマは「鍼灸の可能性を探る 鍼灸の恩恵をすべての人に」であり、このテーマに即して種々の演題と議論が展開されました。静岡県内の鍼灸師養成校の部門長クラスと鍼灸師会会長とのシンポジウムや、鍼灸学生の研究発表、学生を対象とした実技講習会など、特にこれからの鍼灸業界を支える若手および鍼灸学生を業団体としても育成していこうという主旨のものが多く印象を受けました。



私個人としては鈴鹿医療科学大学准教授の鈴木聡先生（本会会員）による「美容鍼」の一般講座の座長としてお手伝いをさせていただきましたが、会場（写真）は立ち見が出るほどの多くの方が聴講され、美容鍼に対する興味関心の高さを改めて感じさせられました。

また、鍼灸関連の講演以外にも、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて努力されているパラリンピック陸上選手のお話や、県民公開講座では全国大会初の試みとなる落語で楽しんでいただくなど、多岐にわたる企画が用意されており、たいへん興味深く拝聴させていただきました。

今回、三重県からは17名の会員が参加され、平成26年の岐阜大会に次いで多い参加者となりましたが、本会にとっては、所属が近畿ブロックから東海北陸ブロックへ移動しての最初の記念すべき大会となったのではないのでしょうか。

令和2年度の第16回全国大会は12月5日(土)～6日(日)に東京（会場：帝京平成大学／懇親会場：ホテルメトロポリタン）にて開催予定です。東京オリンピック・パラリンピック競技大会が終わってホッと一息ついた冬の東京へ、皆さんとともに出かけたいと思います。

（報告：学術委員長 奥田一道）

来年度から始まる新研修制度に向けて

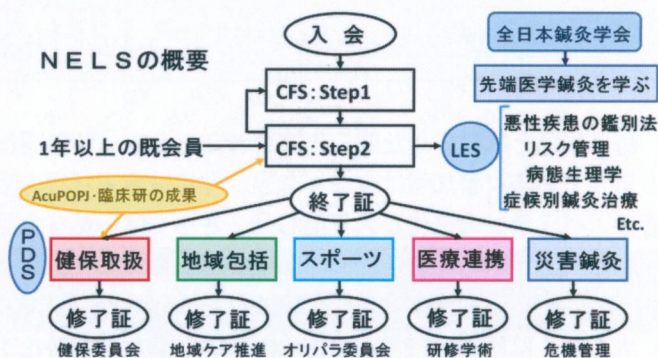
今年度の医療連携研修講座は、開業権を持つ鍼灸師が医療機関や多職種との連携に繋がる情報や、必要な知識を学び、医療連携のスキルを上げることを目的としたクリニカルファンデーションシステム（CFS）の実技研修会として行われました。

参加者には事前に「带状疱疹」「癌」「骨折」「中枢疾患」などが疑われる症例が提示され、その症例について意見を出し合い、その後どのように対応し、必要であればどういった方法で医療機関につなげるかといったワークショップ形式で行われました。

この研修会は日本鍼灸師会が準備を進めているeラーニング研修システムの一環として行われ、日鍼会会員はCFS研修会後、専門領域研修（PDS）や生涯研修制度（LES）に進み、それぞれの研修が終了したら終了書が発行されます。主に在宅受講ができるeラーニングで学べるので、全国一定レベルでの知識や技術の習得が可能となり、会員の質の向上とともに、対外的なブランド力の向上に繋げるといえるものです。すでに鍼灸新報でご存じと思いますが、今まで以上に質の高い研修を手軽に受けられる環境ができるのは喜ばしいことです。

なお、eラーニング研修を受講するにはメールアドレス登録が必要で、日鍼会と連携して準備を進めますが、本会の会員メールアドレス把握率は約90%ですから、多くの皆さんが新システムで受講できると思います。

（報告：広報普及委員長 瀧本 一）



睡眠医療と鍼灸医療の関わり方

講師：名古屋市立大学大学院医学研究科 感覚器・形成医学講座

耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室 睡眠医療センター(ぐっすりセンター)部長 中山 明峰 先生

令和元年最後となる学術研修会は全日本鍼灸学会愛知大会でのご講演の聴講社からリクエストがあった中山先生をお招きして「睡眠」をテーマに開催しました。

日常臨床のなかで、不眠は多くの患者の皆さんが訴える症状の一つであります。そのためか、県外からも数多く参加され、今回のテーマに対する関心の高さがうかがえました。



「睡眠薬＝麻薬」「睡眠薬が眠症を作り出す」などショッキングな内容も飛び出しましたが、軽妙な語り口で参加者一人一人と顔を合わせてお話しいただくという講演のスタイルにより、あっという間の90分でした。患者さんの健康に責任を持つ立場として、睡眠衛生指導の重要性や、「睡眠薬」として処方されている種々の薬剤について、正しい知識を持つ必要があることを再確認した研修会でした。

(報告：学術委員長 奥田一道)

研修会後に時々行う意見交換会ですが、今回は忘年会を兼ね、講師の中山明峰先生にもご参加いただき、研修会で質問しきれなかったことをたくさん伺うことができました。

忘年会なのでお酒も少々入り、時間経過にともなって気持ちが緩んで話し声が大きくなり…。酔っ払った頃を見計らって腰を痛めていた私が患者役で治療デモが始まり、3人の術者の治療(写真：治療する楠原先生)はそれぞれ興味深く、“皆が治療法を披露できる、こんな研修会が一番勉強になるかも”と感じました。来年度計画してみましようか、こんな研修会？



(報告：副会長 岡田 賢)

鍼灸師は外にでよう！「仲間との関わり」が研修になる

毎年恒例となりました四日市支部の忘年会を「和料理たまゆら」(近鉄四日市店 10階)で開催しました。開催と言っても年々参加者は少なくなり、今年は6人だけの寂しい忘年会となりました。しかし人数は少なくても、若手、ベテランの先生が入り混じり、ざっくばらんな会話があり、大笑いします。

いろんな支部がある中で、四日市支部はこの忘年会があることで、良い関わり合いができていると思います。わたしは畑違いの職業から鍼灸師になりました。そんなわたしが外から見た鍼灸師像は、閉鎖的なイメージです。1人もしくは家族で経営し、他の鍼灸師と関わりを持たず、勉強会にも行かずと内に籠ってしまうと、どうしても外の情報が入りません。医療はどんどん新しくなる。このような他の鍼灸師との関わり合い、助言し合う機会、とても大切なことだと思っています。

今年も忘年会があると思いますが、「そんな面倒くさそうな所に行くのは、嫌だなあ…」と思っている方こそ参加していただき、案外楽しい会だと感じていただけたら嬉しく思います。

最近、メディアの取り扱いが増え、鍼灸が注目されています。都会では鍼灸へメンテナンスに行くのが当たり前になってきており、三重県にもその風がやってきました。こんな時だからこそ、鍼灸を盛り上げていかなくてははいけません。何でもかんでも自分で背負い込まず、苦手な分野は得意な先生を紹介したり、相談したり、三重県の中で助けあえるようになれば、より鍼灸が信頼され、皆が良い方向へと向かえると信じています。

(報告：四日市支部長 岡 由香)

インターネット環境を整えれば自宅にしながらパソコンで学べるようになる！

鍼灸師(会)の客観性のあるレベルアップとは？

各都道府県師会の学術担当者とお話をする際に、決まって悩みの一つとして挙がるのが「研修会への参加が少ない」とのご意見です。

一方で会員の方からは「研修テーマに興味がない」「日曜は仕事だから」「会場が遠いから」などにより参加しないという、耳の痛いお声をいただくことも多々あります。よかれと思って研修等を企画する側と受講する側での考え方の相違は、ある意味ではどの業界でもみられる永遠のテーマかなとも思います。

さて、昨年10月に開催した東海北陸ブロック会議の際の資料として、本会が過去4年間に企画した研修会への会員の参加率を出してみたところ平均20.8%で、同期間での会員全体の中で年間25単位以上を取得した方の割合(＝生涯研修修了率)は平均13.4%となりました。

この数字が多い？少ない？の議論は比較対象となるデータが無いため別の機会に譲るとして、「レベルの高い鍼灸師がいる都道府県＝研修会参加率や生涯研修修了率が高い都道府県」という見方も、一般的な感覚からするとあり得る話しかもしれません。

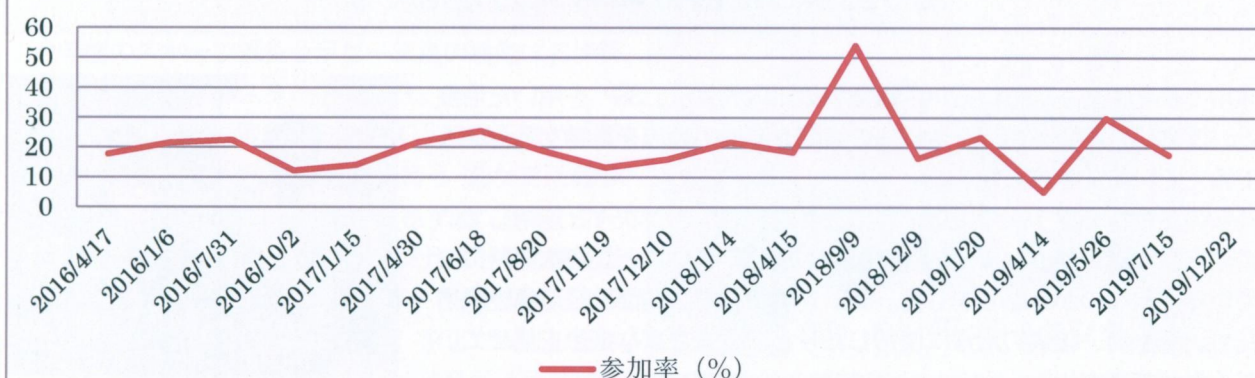
逆に考えると、この数字が高ければ高いほど、対外的に三重県鍼灸師会会員のレベルの高さをアピールする客観的な材料として使うことが可能となるのではないのでしょうか。そしてそれは、同時に会の「強さ」として機能し、ひいては会員である皆さんお一人お一人の「魅力」となるものと考えます。

日本鍼灸師会が準備を進めているeラーニング研修が実施されたとき、前述しました「研修テーマに興味がない」などのアンケート回答者の参加率がどのような数字になるか関心が集まるところです。

三重県全体の鍼灸師の「客観性あるレベルアップ」のために、研修会参加率や生涯研修修了率を、皆さんお一人お一人の意識改革とご協力のもとで少しずつ上げてみませんか、というのがこの誌面をお借りしての提案です。ご一考いただけると幸いです。

(学術委員長 奥田一道)

2016-2019 研修会参加率 (%)



(公財)東洋療法研修試験財団理事長表彰者報告

平成30年度、(公財)東洋療法研修試験財団の定める生涯研修修了証書交付の条件となる25単位以上の取得者は17名(会報124号掲載)で、そのうち修了証書を8年間で5回取得された7名の会員に対し、理事長から表彰されましたので報告します。(写真：第5回研修会後に表彰者を代表して新谷会員に授与)

理事長表彰者：[1回目] 岩本美香・東淳子 [2回目] 新谷有紀 [3回目] 天野治、一見隆彦・岡田賢・仲家栄一(敬称略)

来年度も本会が主催する学術研修会や関連団体学会等への参加と、スポーツボランティア活動への参加は生涯研修の単位として申請しますので、多くの会員の皆さんにご参加いただき、交流と研鑽の場としてご活用ください。



(報告：学術委員長 奥田一道)

総合的な視点で病と向き合う

第2回は本会元会長の仲野弥和先生（日本鍼灸師会前会長）にお話を伺いました。会長時代は、壇上から鍼灸師の未来や業界への強いメッセージを発する印象が強かったのですが、今回は臨床家としての立場から、「鍼を刺してできることなんて限界がある。患者の生活様式や社会環境など、総合的な視点で患者さんを捉え、その中で何が問題かを分析することが大事。」と貴重なお話を伺うことができました。

私は仲野先生の弟子として5年間の研修生時代を過ごしました。先生はさまざまな職業、性格、年代、嗜好の患者さんの生まれたときから現在までのストーリーを引き出し、本人も気づいていなかった自分像や病気に対する想いを丸裸にして認識させる作業が実に上手で、等身大の自分に気付き、嬉しさのあまり泣き出す患者さんも沢山いらっしゃいました。

とにかく学術的、医学的な視点で患者さんを分析してしまいがちな私ですが、「病＝生き方」を改めて認識した一日でした。

講義の後は、スタッフでDIYしたバーベキューハウスで美味しいお肉とお酒をいただき、火を囲みながらのひとは心もお口も開放的で、普段なかなか出せない話題もぽんぽん飛び出し、たいへん楽しい時間を過ごすことができました。

（報告：広報普及委員長 瀧本 一）



凝り固まった自分の考え方をほぐす

津市で長年開業されている川内鍼灸科の川内先生に、SSPを用いた治療法と、浅刺しとお灸を用いた治療法の実際を普段の臨床を見学するという形で教えていただきました。

複数の患者さんを1人で対応されて、素早い手つきで次々と施術していく姿は無駄な動きが少なく、治療の診断が的確で早いことが複数同時にできている秘訣なのかと感じました。SSPを駆使して、顔面神経麻痺を施術したり、五十肩、腰痛の治療に使用したりと、さまざまな疾患を見せていただく事ができました。

今年度は「スキルアップセミナー 先達に学ぶ」は3回開催しましたが、日々の臨床の中では、自分のやり方になってしまい、他の先生方がどのような治療をしているのかなど実際目にする機会は少ないと思います。

講師の先生方の考え方や知識や経験をお聞きして、多くのテクニックを学び、自身の臨床に取り入れることもでき、自分の凝り固まっていた考え方をほぐすとても良い機会になりました。講師を引き受けていただいた先生方、ありがとうございました。

（報告：青年委員長 奥山敬太）



（公社）日本鍼灸師会 近畿ブロック青年部一泊研修会のご案内

昨年まで当会が所属していた近畿ブロック青年部の一泊研修会への参加希望の方は、お問い合わせください。

日程・会場 令和2年3月14日(土)・15日(日) 御所西京都平安ホテル

講座①「鍼灸院経営・医療コミュニケーション」 メイプル名古屋 岡部芳幸 社長

講座②「美容鍼灸」 (公社)群馬県鍼灸師会 田中一行 会長

開催地の会員参加で子育てにやさしい地域づくりへ

本会は9年前より「みえ次世代育成応援ネットワーク」のメンバーとして活動を行ってきましたが、これは、県内の企業や団体が力を出し合って「子育てに優しい地域社会づくり」に取り組む地域密着型のネットワークです。

私達は東洋医学の観点から、子育ての中で「困った」を解決する選択肢の一つとして小児はりを提案しています。毎回体験した子どもたちや家族の方にも大人気で、家庭でも行える方法も併せてお伝えさせていただいていますが、今回は子どもたちに鍼に触れてもらう体験や、美容はり体験、姿勢・歩行分析、体の悩み相談を実施し、幅広い年齢層へ鍼灸医学への興味を持っていただけた活動となりました。

毎回会場では、鍼灸に興味をもった方たちから、「どこへ行けばこのような施術を受けられますか?」とご質問をいただきますので、会員名簿をお渡ししてご自分で連絡をとっていただくようにお伝えしていますが、やはりベストなのは「私のところに来てください!」と地元会員が直接話せることではないでしょうか。非常に多くの来場者のある人気イベントですのでぜひご参加いただき、このネットワークを使って他の子育て支援団体とのコラボや自分のイベントのアピールなども可能ですので興味のある方はご相談ください。

(報告：広報普及委員長 瀧本 一)



2019 中日三重お伊勢さんマラソン

12月8日(日) 三重県営サンアリーナ

新たな工夫で普及効果～県内初のフルマラソンケアへ

今年度のスポーツ鍼灸セラピー三重の活動はお伊勢さんマラソンからのスタートでした。

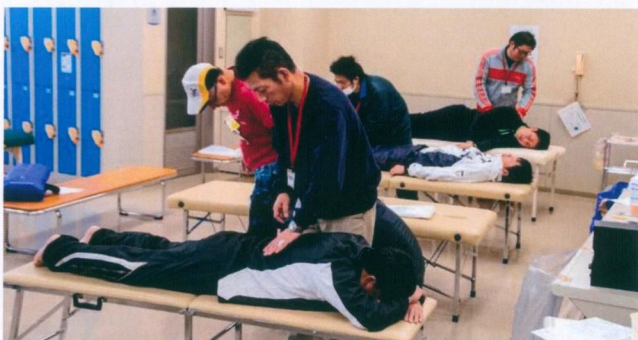
今回からの新たな取り組みとして5つの工夫(①ライングループで事前に情報共有を行う ②ケア活動参加メンバーの顔写真入り名簿を配布する ③ケアブースに BGM を流す ④待っているランナーたちに鍼灸広報 VTR を見ってもらう ⑤インスタボードを設置し、ランナーたちに SNS で拡散してもらう)をしました。

これによって事前に活動メンバーの意思疎通が図れ、活動後の写真のシェアなどもスムーズに行うことができました。VTR の視聴や、顔写真入り名簿の普及効果は未知数ですが、このような普及活動が直接鍼灸治療の利用につながるように工夫して続けていきたいと思っています。

また、出走後の空き時間は活発な意見交換の場となり、日頃の臨牀の疑問を話し合ったり、出口先生によるエプリー法の実演もありました。

2020 年冬には松阪マラソン(三重県初のフルマラソン大会を12月20日に開催)のサポートを行うため、現在、実行委員会と話し合っよう準備を進めている最中ですが、これまでのシティロードレースなどとは対応が異なるとしますので、活動メンバーの増強が必須です。みなさんのご参加をお待ちしています。

(報告：広報普及委員長 瀧本 一)



INFORMATION 2020

■令和元年度 学術研修会（公益財団法人東洋療法研修試験財団生涯研修会 単位認定研修会）

研修回数	日程・会場	内容・会場
第6回	3月22日（日）	鹿の解剖・組織観察（美杉町）

※令和2年度第1回研修会は4月12日（日）に「運動生理学」の講義を予定しています。

一昨年にスキルアップセミナーとして開催した「鹿の解剖」は、参加された会員からは好評で、「また開催してほしい」という声とともに、噂を聞きつけた他師会の会員や、会員外の方からもリクエストがあり、再び開催することとなりました。組織を自らの手で解体し、触れる機会はなかなかありません。普段の臨床で皮膚の下がどうなっているのか、何が起きているのかをイメージしやすくなります。（写真：前回の様子）



日 時：3月22日（日）8：00～14：00

会 場：津市美杉町（君ヶ野ダム上流の山小屋）

会 費：会員 2500 円 会員外 4000 円 ※実習に参加しない方は無料です。BBQ：500 円

来場方法：車でレークサイド君ヶ野まで来ていただくか、電車の場合は榊原温泉口駅で集合となります。

申込期限：3月15日（日）三重県鍼灸師会、もしくは瀧本まで ※必ず事前申し込みをしてください

■令和元年度 普及啓発活動予定

下記のケア活動は「公益財団法人東洋療法研修試験財団生涯研修会 単位認定研修会」として、すでに実施された中日三重お伊勢さんマラソンとともに5単位の取得となります。

事業内容	日程	内容・会場
スポーツ②	2月9日（日）	第15回津シティマラソン大会 ケア活動（サオリーナ）
スポーツ③	2月23日（日）	名張青蓮寺湖駅伝競走大会 ケア活動（名張青蓮寺湖左岸駐車場）
スポーツ④	3月15日（日）	第15回松阪シティマラソン大会 ケア活動（松阪市総合運動公園）

第69回（公社）全日本鍼灸学会学術大会 京都大会

『未来の鍼灸を創造する』～鍼灸×（医療・健康）のその先？～



会期：令和2年（2020年）5月29日（金）～31日（日）

会場：国立京都国際会館

これからの社会構造を踏まえて、健康や病気に対する価値観である健康観を再評価・再構築するとともに、社会が求める鍼灸師の新たな役割を想像することで、今後の鍼灸師が医療や社会で目指すべく羅針盤を作成することを目的に下記の3つのパートで構成されています。

- Part1. これまでの研究成果から未来の鍼灸医療を創造する：現状把握と今後の課題／Part2. 医療、社会構造の変化から未来の鍼灸医療に問題を提起する：未来予測・社会問題からの提起／Part3. 未来の鍼灸医療を創造する

- 令和元年度の愛知大会に続いて近隣の開催ですから参加しやすいと思います。ぜひご参加ください。

三重県との「災害時業務提携協定」へ

頻発する自然災害など「万が一への備え」はできているか？

私たちが住む三重県は東南海地震が発生した際には津波などによる甚大な被害があると予想され、三重県民は支援者と被災者、両方の立場になる可能性があります。本会は災害支援マニュアルを作成し、現在、90名以上が災害支援鍼灸師として「登録」していますが、実際に大地震等が発生した場合を常に想定し、支援活動が可能なレベルにしておかなければなりません。

被災地(者)になる確率が極めて高い三重県の鍼灸師には、共通の目的と統率のとれた「組織」としての対応が要求されますので、現在、三重県と「災害時業務提携協定の締結」(三重県鍼灸マッサージ師会とともに)に向けた準備を進めています。

いつ起こるか分からない災害への備えとして、研修を受けて知識を得るということは、被災された方々だけでなく、自身や家族を守ることにもなりますので、災害支援マニュアルの内容を十分に理解していただき、万一の事態に対応できるようにしておいてください。

災害関連研修受講者 (2020.1.19 現在)

- 国際医療技術財団(JIMTEF)ベーシックコース修了：竹田博文・一見隆彦・奥田一道・小倉智秀・宮脇太郎
- 国際医療技術財団(JIMTEF)アドバンスコース修了：竹田博文・一見隆彦・奥田一道・宮脇太郎
- 日鍼会災害支援鍼灸師養成講座受講：奥田一道・岡田 賢・一見隆彦・森田 輔・新谷有紀・岩本美香・矢谷淑絵
- 日鍼会・全鍼師会合同災害支援鍼灸師(DSAM)育成講座受講：一見隆彦・新谷有紀

■災害支援鍼灸師登録会員は現在 96 名(会員数 100 名)です

昨年発生した台風や豪雨によって多くの方々が被災され、未だに避難生活を強いられている方々があります。

日本鍼灸師会が進める災害時の活動体制は少しずつ進んでおり、今年度から本会が所属する東海北陸ブロックでも災害時に備えるために連携する体制を確認しています。会員全員が万が一に備える心構えをお願いします。

RELAY FOR LIFE JAPAN 2019

三重県初開催「Power of Smile～笑顔の力～2019 三重」に協賛

リレー・フォー・ライフは公益財団法人日本対がん協会が主催し、年間を通じて「がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがん向き合い、がん征圧を目指し、1年を通じて取り組むチャリティー活動」で、2018年は全国48地区で展開されています。(右はロゴマーク)

本会の会報広告や所得補償保険でご協力いただいている、株式会社あつ子保険(奥井あつ子氏)から三重県初の開催と募集等の情報提供があり、今回は協賛(46の団体及び企業等)として参加しました。

三重県で初開催となる今年度は、昨年9月28日(土)14時～29日(日)10時まで松阪市総合運動公園で行われ、ブースを設定しての参加は、婦人科がん患者会、(一社)キャンサーフィットネス、肺がん患者会、三重県乳腺患者友の会などがありました。鍼灸関係では、日本鍼灸師会全国広報普及部長会議の各師会活動で梨県鍼灸師会が毎年活動されているようです。

次年度から予算及び日程その他条件が整えば、これまで行っている市民マラソン、四日市健康フェスタ、子育て支援わくわくフェスタ同様に鍼灸普及啓発ブースを出展することができますが、4カ所に増えたシティーマラソンへのケアチーム派遣等もありますので合わせて検討する予定です。

次年度の開催場所は現時点で未定ですが、正式参加することとなった場合はその地区の皆さんに参加協力をお願いします。



新構成下初のブロック会議を三重県担当で開催

今年度から日本鍼灸師会のブロック構成が変更され、本会は6県7師会（富山・石川・岐阜・愛知・一社愛知・静岡・三重）の東海北陸ブロック会所属となり、新構成での初回ブロック会議は三重県師会が担当することとなり、一昨年より準備を進めて四日市市で開催しました。ブロック本会議に先立ち、師会長会議が開催されました。

また、初日の本会議終了後には意見交換会を開催し、今後の鍼灸業界の進むべき道筋について語り、その勢いのまま二次会になだれ込んで深夜まで活発な意見交換を行いましたので併せて報告します。

■師会長会議

第1回のブロック会議に先立って、師会長間でさまざま調整を行い、①東海北陸ブロック会 会長選任の件 ②東海北陸ブロック会会則の件（副会長等の役員事項を規定する場合は役員選任）③令和元年度ブロック会予算に関する件 ④平成31年度／令和元年度 記念式典等渉外事業確認の件 ⑤東海北陸ブロック会議 次期担当師会及び開催順の件 ⑥日本鍼灸師会ブロック会長会議出席者について。以上6議案について協議した。

■ブロック本会議

10月19日（土／15：30～17：30）20日（日／9：00～12：10）の2日間、プラトンホテル四日市（三重県四日市市）を会場に、日鍼会から小川卓良会長（20日）、松浦正人副会長、南治成副会長、各師会からは静岡（2名）愛知（3名）一社愛知（3名）岐阜（2名）富山（2名）石川（2名）三重（10名）の計27名が出席した。

■協議事項（10月19日）

①新編成された東海北陸ブロック会の運営の件 ②（公社）日本鍼灸師会第15回全国大会 in 静岡協力体制及び作業分担の件 ③組織強化への対策と取り組みの件 ④日鍼会 IT化にともなう各師会の対応について ⑤各県の会員の研修会参加現状と対策について ⑥災害時の連携体制について。以上の6議案について協議した。



公益社団法人 日本鍼灸師会
令和元年度 東海北陸ブロック会議 in 三重



会議初日の意見交換会風景

■協議事項（10月20日）

初日に引き続いて、⑦療養費受領委任制度に関する件について ⑧広報活動の展開と連携について ⑨鍼灸マッサージ師会との合併について ⑩病院内での鍼灸の普及について ⑪2020 東京オリ・パラに向けた取り組みについて ⑫医療連携について（第10号議案と同時に協議）その他の件「意見：鍼灸業界を取り巻く危機」。以上初日から12の議案について協議した。



以上、2日間に亘り会議テーマ「連携・協働～目標実現に向けた環境整備～」について、予定した時間通りに協議を終了しましたが、今後は新ブロックのメンバーで連携・協働しながら、協議した課題につて整備を進めることになります。

2020年度のブロック会議日程は10月3日（土）～4日（日）に決まり、担当される（一社）愛知県鍼灸師会にバトンタッチです。（報告：副会長 岡田 賢）

保険取扱高の推移～今後の展望を開くためにもっと世間と繋がろう

本会の保険取扱高推移を見ると、平成24年をピークに右肩下がりで漸減が続いており、昨年10月の受領委任払い制度導入後も漸減状況は歯止めが掛らない状態です。保険取扱いの減少は定率会費の減少を招き、会務運営に影響し、当然ながら事業内容及び会費の見直しも検討しなければなりません。

受領委任払い制度導入により、今まで支払いの根拠がなくあやふやな状態で運営されていたものを、全ての保険者が参加し、県知事・東海北陸厚生局長との協定（登録）により全ての保険者が根拠のある支払いになるはずでした。しかし、健保組合連合会本部の強力な反対により保険者裁量が残されたため、制度に参加する健保組合はわずかで、大部分は「償還払い」に移行されつつあります。このこともあり健保組合の申請はどんどん減少し、他の保険者の審査も厳しさを増しつつあり、なかなか明るい展望が開けない現状です。

新たな動きとしては、本年4月から国保公的審査会に初めて鍼灸マッサージ審査委員が1人参加できるようになりました。この事により、今まで「疑問あり」として医師の確認を受けていた国保・後期の申請書に、鍼灸マッサージ師が意見を言える環境が整いますから、返戻又は不支給とされる申請書を減らすことができるのではないかと期待しています。

私としては、開業間もないような若い会員に、保険を積極的に取扱ってほしいと思っています。

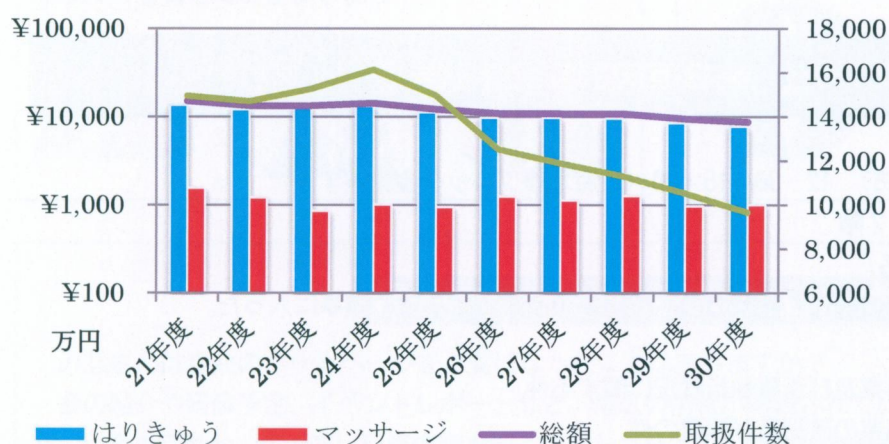
臨床能力を養う間は、保険を扱うことで治療費を抑えながら、自身のスキルアップにつなげられますから、いわゆる保険6疾患と膝関節疾患の計7疾患について20～30症例を経験すれば、かなりのスキルが身につく自信も付いてくるでしょう。このように開業間もない会員は、保険と自費を並行して行うことも考えていいと思います。

医師の同意がなかなか難しく得られないとよく聞きますが、もっと積極的にコンタクトを取りましょう。これが医療連携であり、来院された患者さんに紹介状を付けて近医に紹介し、自分が風邪でも引いたら、顔を見せて「実はこういう事をしている鍼灸師です。同意書をお願いできますか？」と尋ね、書いてもらえなければ別の医師や、市町の健診時にでも「同意書」をお願いしてみる等々積極的に動いてください。また、地域包括支援センターに顔を出して職種が異なる方とつながりを持つのも良いと思います。

乏しい知識では仕事の範囲を狭くします。いつでも相談に乗りますから研修会等に出席して相談してください、鍼灸師の皆さん、もっと世間と広く繋がろう！！

（報告：保険委員長 天野 治）

年度別療養費推移



年度	取扱件数	総額
21年度	14940	¥150,046,575
22年度	14684	¥132,326,080
23年度	15250	¥132,566,200
24年度	16127	¥141,408,580
25年度	14950	¥120,786,895
26年度	12521	¥108,634,920
27年度	11876	¥107,866,035
28年度	11301	¥107,393,760
29年度	10514	¥94,091,770
30年度	9638	¥86,844,560

厚生労働省 東海北陸厚生局 療養費集団指導会

東海北陸厚生局三重事務所から案内が届いていると思いますが、来る2月6日（木）14時から15時まで、県総合文化センターで東海北陸厚生局三重事務所指導課による「集団指導会」が開催されます。

これは、2018年10月から2019年9月末までに新しく施術管理者となった者を対象に行われる三重県全体の指導会で、一度は必ず受けなければならない研修です。平日で患者の皆さんにご迷惑をお掛けするかも知れませんが参加して下さい。なお、どうしても都合が悪い方は、来年度もこの時期に実施されますので必ず受講してください。

新入会員紹介 みなさんのご活躍を期待しています！

伊勢・鳥羽支部 堤 綾子（令和元年8月5日入会）

出身校：関西医療大学（平成22年4月 免許取得）

勤務先：花園はりきゅう整骨院

一言：患者様のお身体の不調だけでなく、心のケアもできる鍼灸師を目指し日々努力をして参りたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



四日市支部 宮脇 太朗（令和元年10月3日入会）

出身校：明治鍼灸大学（平成13年5月 免許取得）

勤務先：ユマニテク医療福祉大学校・しおはま鍼灸院

一言：健康のプロとして活動できる鍼灸師として研鑽を積み、患者の心身と対話できる人物でありたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



「医療に関する広告規制の見直し」について Vol.3

昨年11月14日に「第8回 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師及び柔道整復師等の広告に関する検討会」が行われ、これまでの議論を踏まえた広告ガイドライン作成方針が示されましたが、まだ時間がかかると思います。

会報123号で「医療に関する広告規制に見直し」「日鍼会検索システム・鍼灸ネット」についてお知らせしましたが、日本鍼灸師会の「鍼灸ネット」（日鍼会会員が登録できる検索システム）の内容について、登録者の皆さんは現在あるそれぞれの書込み事項を保存し、厚生労働省の検討委員会での見直し（規制等）が決定した後に書き換え修正等の対応ができるように準備しておいてください。

令和元年度 第3回理事会報告

【日時】 令和元年10月20日（日） 12：30～15：30（東海北陸ブロック会議終了後）

【会場】 プラトンホテル四日市 2階

【出席者】 9名（欠席者：理事1名）

各委員会から事業及び進捗状況等の報告・説明ののち協議事項及び審議事項の議事に入った。

【協議事項】

第1号議案 令和元年度上半期事業及び予算執行状況に関する件

第2号議案 令和元年度下半期事業の確認及び調整の件

【決議事項】

第1号議案 令和2年度事業案及び予算案に関する件

第2号議案 公益目的支出計画の実施と今後の事業計画の策定に関する件

第3号議案 広報普及制作物（キャラクター）制作費の件

第4号議案 鍼灸賠償保険団体加入の全員付保の件

第5号議案 事務所会計用・保険管理用PC購入の件

第6号議案 県との災害協定に向けた地区災害ボランティアとの連携づくりの件

第7号議案 その他 ①セイリンカレンダー購入の件 ②令和2年度定時会員総会日程の件

みえ松阪マラソン2020 MIE MATSUSAKA MARATHON

2020年12月20日（日）、いよいよ三重県初となるフルマラソンの大会が開催されることとなりました。松阪の歴史と文化を感じられるコースで、松阪の食を楽しめる大会となるでしょう。

本会は、この大会をバックアップし、全国から集まるランナーへ鍼灸治療を提供できるよう準備中で、鍼灸の普及啓発を行いながら、自分たちの技術の研鑽に繋がる絶好の機会となります。

いつも10名程度で活動しているスポーツ鍼灸セラピー三重ですが、20名程度のスタッフで臨めるよう、皆さんのご協力をいただき、準備を進めていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



三重とこわか大会

第21回全国障害者スポーツ大会 ときめいて人 かがやいて未来 2021

2021年10月23日～25日に第21回全国障害者スポーツ大会が三重県で開催されます。陸上、水泳、バスケットボールなど、全16競技が実施される予定です。競技会場は、北は東員町から南は紀北町まで、三重県各市町で開催されます。

本会は県の要請を受け、他の医療職種と共働して全国から集まるアスリート達のサポートにあたる予定です。昨年からの準備が始まっています。どの地域でどの競技をサポートするかはまだ決まっていますが、この一年でしっかりと準備をしていきたいと思っています。（標章許可番号三重国体・大会承認31第1-23号）

マスコットキャラクター

三重県鍼灸師会マスコットキャラクターを使ったラインスタンプが近々完成します。全16種類のスタンプがあり、患者の皆さんやお友達とのコミュニケーションに使っていただき、鍼灸に興味をもっていただくきっかけとなれば幸いです。

他にも、会の封筒や印刷物、ホームページ、ノベルティーグッズなどにも使っていきたくと思っています。みなさんからのご意見とアイデアでこのキャラクターを育てていきましょう！



ロゴマーク

当会で長年使用してきたロゴマーク。その由来は日本鍼灸師会のロゴに少し手を加えたものですが、時代に合わせて、当会のロゴもチェンジすべく、みんなで意見を出し合っている途中です。

「三重県」「はり」「きゅう」「健康」「体に優しい」などなど、当会のアピールしたいイメージを表現できるマークを作りたいと思っています。みなさんにとって、アピールしたいイメージは何ですか？



ホームページリニューアル

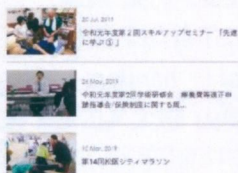
みなさんは当会のホームページをご覧になったことはありますか？

会の紹介や研修予定、イベントレポートなど、幅広い情報が掲載されています。より多くの方に見ていただき、当会の活動や、質の高い研修内容を知っていただき、ここの会員の治療を受けたい！と思っていただけるように新しく整備しています。例えば下記のようなページがあり、近日中に公開予定です。

研修予定



イベント報告



鍼灸を知りたい方へ



鍼灸院を探す などなど



私たちの金メダルは、あなたの元気です。

人に寄り添い、元気をサポートするのは、東洋医療の得意技。
スポーツの現場でも中和の卒業生が大勢活躍しています。



Chuwa Professional Training College of Medical Care

厚生労働大臣認定・愛知県知事認定・指定 学校法人 葛谷学園
 **中和医療専門学校**
Chuwa Professional Training College of Medical Care
(公社)東洋療法学校協会・(公社)全国柔道整復学校協会加盟校

文部科学大臣認定 職業実践専門課程

あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科(本科)

はり、きゅう科(専科)

柔道整復科I部(昼間部)

柔道整復科II部(夜間部)

〒492-8251 愛知県稲沢市東緑町1-1-81

TEL 0587-23-5235

FAX 0587-23-5237

www.chuwa.ac.jp

Webサイトはこちら



表紙写真 「辰水神社のジャンボ干支」

津市美里町の辰巳神社の参道に突如現れる日本最大級のジャンボ干支。

昭和61年から地元の有志「ふるさと愛好会」により制作・奉納され、地域のシンボルとして人気が集まっています。

毎年12月29日から2月11日まで奉納され、干支を潜り抜けることにより、「家族円満」「万民和楽」「五穀豊穡」を願うとされています。

今年の干支は金色に輝く高さ3メートルの「ねずみ」が、オリンピックのトーチを掲げて参拝される皆さんをお待ちしています。「日本選手が金メダルをたくさん取ってほしい」との願いが込められているそうです。

五輪マークの門松とともに見にいってみてはいかがでしょうか？

編集後記

年末年始に2つのトレイルランニングをしました。登山道を登り川を渡り谷を駆け降り、道に迷ったり立ち止まったりもしましたが、ふと出会った景色に感動する…わくわくドキドキの時間でした。

マラソンはタイムが気になり、負けたくない競争心に突き動かされて走りますが、トレイルランでは、その時その場を楽しんで走り続けられました。

鍼灸の仕事も山あり谷ありで、先がどうなるかわかりませんが、患者さんと一緒になって夢中で楽しく走り続ける。他の治療院に負けないように、この治療法が正しいんだ！なんて決めつけないで、迷いながらも目の前にいる患者さんに集中していると素晴らしい景色が見えてくる…。そんなこんなで今年もでこぼこ道を走ります！
(T)

一般社団法人 三重県鍼灸師会 会報 第125号 (令和2年1月30日発行)

発行者 一般社団法人三重県鍼灸師会 会長 一見 隆彦

〒514-0004 三重県津市栄町二丁目325番地

電話 059-227-3345 e-mail harikyu_mie@vesta.ocn.ne.jp

発行責任者 瀧本 一 (広報・普及委員長)・奥山 敬太 (広報・普及副委員長)

印刷 株式会社プリントパック

表紙写真提供 稲垣 博文 氏 (津市美里町在住)



『みて・さわって・なっとく』出来る
ショールームって知ってますか？



ベッド・マクラコーナー

500台以上ベッド在庫あり!!

《気に入ったベッドをその場でお持ち帰り頂けます。》

ベッドやマクラの質感が実感出来ます!

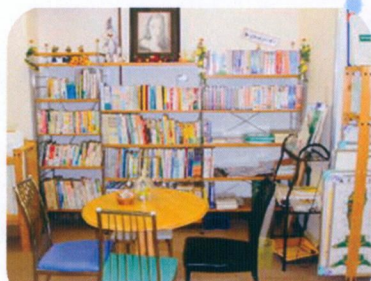
ディスポ針・豪鍼・灸用品・

パルス・衛生材料・治療院設備など

見た事のない商品が手に取って確認できます。



鍼・もぐさ・小物コーナー



ライブラリーコーナー

鍼灸・指圧・マッサージ・カイロ・整体・柔整など
東洋医療専門書が 販売用500冊以上!

手に取って中が確認でき その場で購入可能!
出版社によって 10%offの本もあります。

《医道・たにぐち・エンタープライズetc》

こんな企画も...

=ご来店頂いた方に感謝して=

毎月10日 全品10%off

注)10日に来店された方のみです。

JR岐阜駅・名鉄岐阜駅より 徒歩約8分

是非、この機会にご来店下さい。損はしません。

イトウメディカル

〒500-8841 岐阜市高野町5-18

TEL (058)266-4598 FAX (058)266-7060

URL [http:// itohari.com/](http://itohari.com/)

E-mail ito.hari@tiara.ocn.ne.jp



イトウメディカル
駐車場完備

月に2回、日曜日も営業しています。
アクセス方法、営業日等ホームページ又は
お電話にてお問い合わせ下さい。

picorina

ピコリナ

鍼電極低周波治療器 セイリン picorina

管理医療機器(特定保守管理医療機器)(クラスII) 医療機器認証番号 229AABZX00058000

往診でも持ち運びが便利な軽量・コンパクト設計

治療状況に左右されない
安定した治療電流を供給
定電流出力方式

チャンネルごとに
異なる設定で
治療ができる
**2CH
独立出力**



原寸大

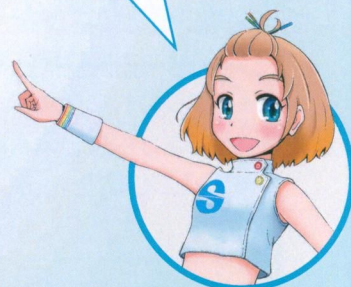
出力微調整で
やさしい治療を実現
FINEモード

治療目的ごとに使い分けできる
**4種類の
出力モード**



設定の手間を省けて効率的
**プログラム
保存機能**

使いやすいタッチパネル
& ロータリーエンコーダー



公式キャラクター りんちゃん

本体仕様 【定格電源】①本体: DC3.7V(リチウムイオン充電電池)、DC5.9V(ACアダプタ) ②ACアダプタ: AC100V 50/60Hz 【定格消費電力】12VA 【出力電流】最大1mA以下(実効値) 【出力電圧】最大10V±20%(ピーク値、500Ω負荷) 【出力周波数】最大100Hz 【タイマー】30分±5% 【電撃に対する保護の形式と程度】クラスII及び内部電源機器、BF形 【サイズ】(H)140×(W)69.4×(D)21.8mm 【重量】160g(リチウムイオン充電電池含む)



ISO13485 認証取得

■フリーダイヤル(通話料無料)はこちらから

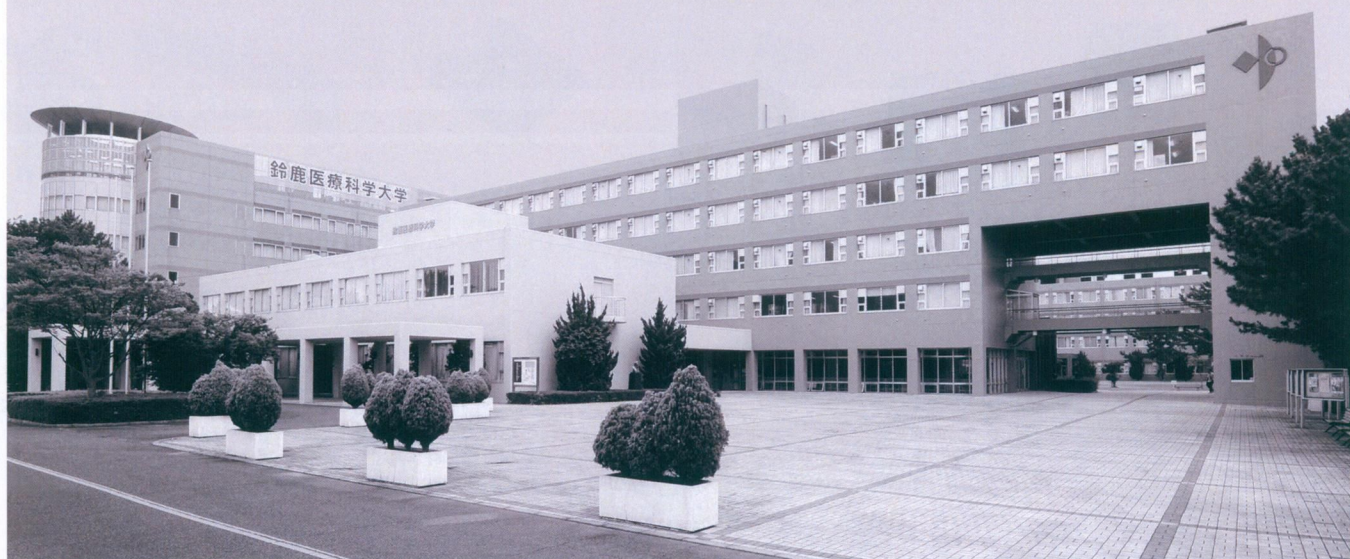
0120-100890

■詳しい情報は、当社 Web サイトでもご覧いただけます

<http://www.seirin.jp>

【販売元】セイリン株式会社 【住所】〒424-0037 静岡県静岡市清水区袖師町1007-1 【TEL】054-365-5700 【FAX】054-365-5139

日本初の4年制医療系大学 医療・福祉の総合大学



保健衛生学部

鍼灸サイエンス学科 鍼灸・スポーツトレーナー学専攻
鍼灸サイエンス学科 鍼灸学専攻
放射線技術科学科
医療栄養学科 管理栄養学専攻
医療栄養学科 臨床検査学専攻
リハビリテーション学科 理学療法学専攻
リハビリテーション学科 作業療法学専攻
医療福祉学科 医療福祉学専攻
医療福祉学科 臨床心理学専攻

医用工学部

臨床工学科
医用情報工学科

薬学部

薬学科

看護学部

看護学科※

大学院

薬学研究科 医療薬学専攻
医療科学研究科 医療科学専攻
東京サテライトコース
名古屋サテライトコース

※ 2020年度募集より80名から100名に入学定員変更予定
(認可申請中。本内容は現時点の予定であり、変更になる場合があります。)



SUZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

鈴鹿医療科学大学

三重県鈴鹿市岸岡町1001-1 TEL059-383-8991(代表)

[illegible]

私達は商品をお届けするだけではなく、他業界で25年間培った経験をもとに、
弊社が提携している、
物販アドバイザー・補助金コンサルタント・税理士・弁護士・司法書士・
ファイナンシャルプランナーなどグループ全体で、
治療院様を全力でサポートします。
お気軽にご相談ください。



- ・24時間受付(営業時間での対応となります)

昇龍道プロジェクト会員企業

お悩みやニーズに合わせて ジャストフィットな一台を。

**TAKARA
BELMONT**

サイズ・カラーを組み合わせる新・カスタムオーダーシステム。

STEP 1 本体ベースを選ぶ

CS series

EX-CS2 オートリターン

様々な用途に活かせる
スタンダードタイプ



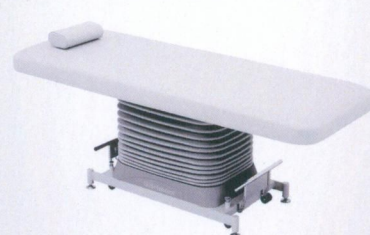
EX-CS3 プリセット オートリターン ソフトスタート・ストップ

プリセット & オートリターン機能
搭載タイプ



EX-CS6 フリーキャスター オートリターン プリセット ソフトスタート・ストップ

自在に移動できる
フリーキャスター採用さいふ



SJ-100

電動アクチュエーター式の
堅牢設計モデル



Superior Bed (スーペリアベッド)

4つ足式の固定ベッド



SJ series

受注生産

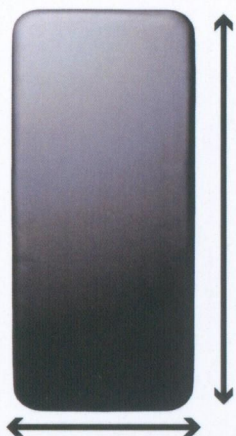
有孔天板
(孔クッション)

うつ伏せでの診察に
便利です。

※別途、費用が必要です。



STEP 2 天板サイズを選ぶ



長さ
1800 mm / 1900 mm

幅
600 mm / 650 mm
700 mm / 800 mm

※スーペリアベッドの幅は、
600 mm/650 mm/700 mm のみ

STEP 3 天板カラーを選ぶ

全 24 色から選べる
天板カラーラインアップ

お部屋のイメージにあった
カラーをお選びいただけます。

販売名 診察台 EX-CS2 : 製造販売届出番号 27B1X00042000069
販売名 診察台 EX-CS3 : 製造販売届出番号 27B1X00042000070
販売名 診察台 EX-CS6 : 製造販売届出番号 27B1X00042000071
販売名 診察台 SJ-100 : 製造販売届出番号 27B1X00042000017

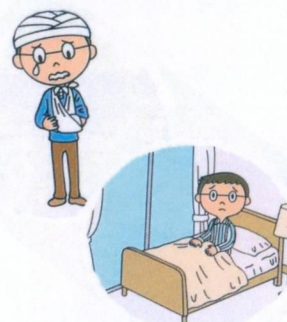
タカラベルモント株式会社

<http://www.takarabelmont.co.jp>



東京海上日動のトータルアシストからだの保険(所得補償)

所得補償はケガや病気で働けない期間
あなたの所得を補償する保険です。



業務中・日常生活を問わず補償

業務中はもちろん、レジャーや海外旅行中の
ケガ・病気で仕事を休まれた場合、保険金をお支払いします。

入院はもちろん自宅療養もカバー

治療のために入院していること、または入院以外で医師の治療を
受けていることにより、全く働けない場合に保険金をお支払いします。



保険期間1年

保険金額(日額)

所得補償	1日あたり5,000円 (免責日数7日) (てん補日数365日)
------	--

お支払いいただく保険料

ご契約年齢 お支払い方法	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳
月払	2,720円	3,250円	3,770円	4,030円	4,240円
年払	31,090円	37,110円	43,040円	46,050円	48,440円

上記はご契約パターンの一例です。これ以外のパターンをご希望の場合は代理店にご照会下さい。

※ご契約年齢は、被保険者(保険の対象となる方)の保険期間開始時の満年齢をいいます。

※所得補償保険金額(日額)は、年間所得額に応じて設定ください。

「被保険者様が加入されている公的医療保険制度(国民健康保険またはそれ以外)によって保険金額の設定が異なります。」

返れい金のお支払いはありません。(2013年10月改定)

ご加入の際、医師の診査は不要です

健康状態告知書にあなたの健康状態を正しくご記入いただければOKです。

※ご記入いただいた内容によっては、ご加入をお断りしたり、弊社の提示するお引受け条件によってご加入いただく場合がございます。

※ご契約後に保険のご契約内容・告知内容等について、確認のお電話をさせていただく場合がございます。

「トータルアシストからだの保険(所得補償)」は傷害総合保険(所得補償条項)のペットネームです。

このチラシは傷害総合保険(所得補償)の概要についてご紹介したものです。ご契約にあたっては必ず『重要事項説明書』をよくお読み下さい。

また詳しくは『ご契約のしおり(約款)』をご用意しておりますので、必要に応じて、代理店にご請求ください。

ご不明な点等がある場合には代理店までお問い合わせ下さい。

(お問い合わせ先)

◇取扱代理店

株式会社あつこ保険事務所 代表取締役 奥井 あつ子

〒510-0085

四日市市諏訪栄町5-16-2F

Tel/Fax 059-350-2433

◇引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社

担当支社 四日市支社

〒510-8515

四日市市鶴の森1-3-20 萩ビル6F

Tel 059-354-8613

2019年5月作成 19-T00787